

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	渡島大野
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		273,000千円	
年 効 用		21,046千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	394,859千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.44	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9,813	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、ネギ、トマト、ホウレンソウ
営農経費の節減	営農経費節減効果	6,727	ほ場の大区画化や排水改良による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、ネギ、トマト、ホウレンソウ
	維持管理費節減効果	284	用排水施設の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,222	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		21,046	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	今金
-----	----------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 6 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 1 4 , 6 2 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 0 1 4 , 4 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 0 8	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 8 , 1 7 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、馬鈴薯、大豆、小豆、小麦、甜菜、だいこん、ネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 6 , 4 5 0	ほ場の大区画化や排水性の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、馬鈴薯、大豆、小豆、小麦、甜菜、だいこん、ネギ
計		1 1 4 , 6 2 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	長沼北
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 8 3 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 2 6 , 2 2 1 千円	
廃 用 損 失 額		2 9 , 2 7 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 5 3 , 2 0 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 5 , 7 9 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、苺、ほか
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 1 , 6 0 5	ほ場の大区画化やほ場の排水性の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、苺、ほか
	維持管理費節減効果	2 1 , 3 0 8	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 7 , 5 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 2 6 , 2 2 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	たいせつ東
-----	----------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１，０７１，０００千円	
年 効 用		１１０，６４８千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３９年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）		０．０５３１	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	２，０８３，７６６千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．９４	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	１８，１８１	水田の排水改良等による単収の増加等 対象作物：水稻、小麦、大豆、トマト、キュウリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	７９，１３８	ほ場の大区画化や排水性の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、トマト、キュウリ
	維持管理費節減効果	７，３９４	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	５，９３５	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		１１０，６４８	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	たいせつ西
-----	----------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 9 2 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 3 5 , 8 3 7 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 2 4 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 3 3 6 , 7 4 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 6 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 2 , 7 7 0	水田の排水改良等による単収の増加等 対象作物：水稻、小麦、大豆、トマト、ｷｬﾋﾞﾘ
	品 質 向 上 効 果	2 , 8 2 0	農道が整備され作物の荷傷みが防止されること等による作物の品質の向上 対象作物：水稻、トマト、ｷｬﾋﾞﾘ
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 0 , 3 3 2	ほ場の大区画化や排水性の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、トマト、ｷｬﾋﾞﾘ
	維持管理費節減効果	2 1 , 1 7 2	用排水施設や農道の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 , 7 7 0	農道整備による農作物の生産・流通に係る輸送経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 8 4 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 2 9	農道整備による一般交通の改善に伴う輸送経費の節減
計		1 3 5 , 8 3 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	青森県	地区名	第二出来島
-----	----------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 6 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 2 , 3 2 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 0 9 , 2 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 1 8 7	水田の排水改良等に伴う転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8 , 4 3 7	乾田化、用排水改良等ほ場条件の改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	5 4 6	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 1 5 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 2 , 3 2 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	河北南部
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		210,000千円	
年 効 用		24,817千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0650	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	381,800千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.81	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	20,601	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、枝豆、さといも、なす、きゅうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,175	乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大豆
	維持管理費節減効果	41	用排水施設の補修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
計		24,817	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	橋下
-----	----------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		214,200千円	
年 効 用		28,230千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0686	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	411,516千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.92	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	19,220	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、麦、大豆、イチゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	9,010	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、たまねぎ、イチゴ
計		28,230	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	有明
-----	----------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		５０９，５００千円	
年 効 用		３３，４８５千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３２年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０５７７	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	５８０，３２９千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．１３	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	１１，５６１	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、レタス、かすみ草デコボン
営農経費の節減	営農経費節減効果	１５，４７４	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	９６８	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	５，４８２	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		３３，４８５	